



B A D M I N T O N A I C H I

バドミントン愛知

No.
148

令和2年3月 発行者／愛知県バドミントン協会 編集者／広報委員会

第55回愛知県社会人バドミントン選手権大会

令和2年2月15日(土)に稲永スポーツセンター、2月23日(日)に露橋スポーツセンターで全日本シニア予選会を兼ねて開催された。

男子シングルス 実力通り優勝！松本康平選手(ジェイテクト)

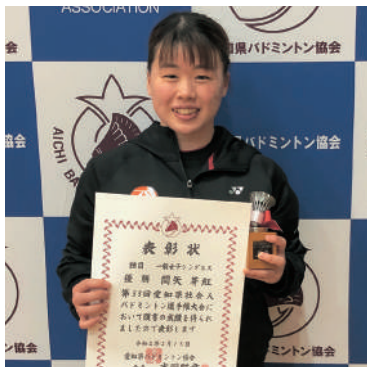
昨年優勝の松村健太選手が棄権するなか、順当に勝ち上がったのはやはり実力者の実業団リーグ選手だった。松本康平選手は準決勝を接戦ながら2-0で勝ったことで体力の温存につながり、昨年の中部日本を制した菊地拓也選手(トヨタ自動車)との決勝もファイナルゲームにもつれこんだが、しっかり勝ち切る見ごたえのある一戦だった。

試合後「昨年の県総合が不本意な成績のため、今年は予選からのスタート。今日の優勝をバネに県総合優勝目指して頑張りたい」と力強く語ってくれた。



松本康平選手

女子シングルス 気合十分、元気一杯！関矢芽紅選手(東海興業)



関矢芽紅選手

昨年の1位肥田木あかり選手(東海興業)、同2位井上洸選手(同)と中部日本を制した関矢夕芽選手(トヨタ自動車)がベスト4に名を連ねるなか、優勝したのは関矢芽紅選手だった。準決勝で対戦した同じ会社の先輩、肥田木選手との試合では最後まで声を出して逆転で勝利。

「先輩たちとは一緒に練習をしていて、いつも刺激を受けています。今日の優勝は素直に嬉しいです」今回は実現しなかったが「姉妹対決が楽しみです」と最後の笑顔が素敵だった。

混合ダブルス 初めてのペアで優勝！窪田侑生・木村唯菜組(豊田自動織機)

一般混合ダブルスは全試合ファイナルゲームにもつれ込む大接戦。優勝を掴んだのは今回初めてペアを組んだ窪田・木村組。初戦の試合では「1ゲーム目はリズムに乗れなかったがゲームが進むにつれ少しずつ調整していくことができた」と窪田選手。窪田選手がシャトルをダイビンググレシーブで拾いまくって「ペアに助けられました」と木村選手。

お互い相手をたたえながら話をしてくれた、とびっきりの笑顔が印象的だった。(広報委員 鈴木勝男)



(左)窪田侑生選手 (右)木村唯菜選手

男子ダブルス 2連覇！鈴木陵麻・深尾淳組(はりーあっぷ)

昨年この大会を制した鈴木・深尾組が、第1シードの実力を発揮して決勝まで駒を進めた。相手はS/Jリーグに参戦中の東海興業の松本アキラ・真川嵩平組。結果は2-0で鈴木・深尾組の勝利となったが、その勝因を聞くと瞬時に「仲の良さ、コミュニケーションの多さ」との回答が返ってきた。準々決勝時にその大切さに気付き、声を掛け合いながら決勝まで勝ち切ったのだそうだ。

今後の目標は、同級生の斎藤しおり選手が持つ偉大なる五連覇の記録に秘かに挑むことだとか。



(左)深尾淳選手 (右)鈴木陵麻選手

女子ダブルス 関矢芽紅選手(東海興業) 先輩の杉山利奈選手と組んで単複を制す！

ベスト4に東海興業のペアが3つ残ったが、その中を勝ち抜いたのは一般女子シングルスを制した関矢選手のペアであった。東海興業では1月にペアの組み替えを行い、まだどのペアも手探り状態の中、単複2冠を達成したいという関矢選手の強い気持ちが杉山選手にも火をつけ、準決勝、決勝と同僚ペアを撃破した。

今後はもっとプレーのバリエーションを増やして、常勝ペアになれるよう努力していくとのことだった。

(広報副委員長 天竺良彦)



(左)杉山利奈選手 (右)関矢芽紅選手

年齢別優勝者

	男子シングルス	女子シングルス	混合ダブルス	男子ダブルス	女子ダブルス
30歳以上	鈴木 陵麻 (はりーあっぷ)	花堂 季子 (横須賀クラブ)	木村雄一朗(ジェイテクト) 西澤 佳奈(刈谷)	矢神 謙介(鮭王) 井上 聖悟(スペースシャトル)	酒井 咲絵(豊田自動織機) 木村 唯菜(豊田自動織機)
35歳以上	立松 幹浩 (東海クラブ)	勝呂 繭子 (Oh my gut)	源口 哲史(紫電会) 源口さやか(ウイスタリア)	鶴田 久幸(三好) 古平 和行(Tsutsumi)	外山真理子(横須賀クラブ) 田中扶有美(さおりBC)
40歳以上	山崎 大 (ハネツキ会)	深谷 雅代 (フレスカ)	吉川功次郎(ウイスタリア) 森 亜由美(中川シャトル)	源口 哲史(紫電会) 阿久津博将(個人登録)	高倉あゆみ(RHBT) 真田 範子(G spank)
45歳以上	山脇 克泰 (ハネツキ会)		中村 俊則(シャトルメイツ) 北村 清美(名古屋わかしゃち)	百丸 祐輝(ウイスタリア) 磯貝謙太郎(個人登録)	今野美代子(大府) 岩間 和美(刈谷)
50歳以上	森本 順 (名古屋北クラブ)	清水 美紀 (瑞穂クラブ)	松原 伸幸(貴船BC) 高田 美和(三好)	松原 伸幸(貴船BC) 岡本 哲哉(フライト)	市野 寿子(JUPITER) 小池由紀子(ウイスタリア)
55歳以上	船木 勝正 (大門BC)		木村 隆夫(シャトルまかせ) 梅村由美子(Cuckoo愛知)	船木 勝正(大門BC) 成瀬 達吉(大門BC)	錦野 圭子(稲沢) 浅野みどり(稲沢)
60歳以上	塩澤 源市 (個人登録)		梶川 博之(Tsutsumi) 門間由美子(豊田)	齋藤 敏和(横須賀クラブ) 加藤 元久(中川シャトル)	杉本美佐子(名古屋あすなる) 水野 良子(小牧)
65歳以上	橋村 義春 (愛知製鋼)	鈴木 信子 (三好)		川原 雅治(名古屋北クラブ) 佐々木 淳(名古屋北クラブ)	村上 啓子(小牧) 西本 民子(春日井)
70歳以上	青山 伸幸 (大門BC)		武田 正雄(愛知県実業団連盟) 武田 京子(刈谷)	武田 正雄(愛知県実業団連盟) 近藤 一男(岩倉パラレル)	内門さちえ(岡崎フェニックス) 井上 博子(尾張旭)
75歳以上	大野 俊彦 (東海シャトルズ)				

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

バドミントンプロショップ
リーダーズ グループ

SINCE 1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

(有)リーダーズ

代表取締役 菱田修光

TEL・FAX(052)703-2767

日バ主催のバドミントン・キャラバン、本県で開催!!

バドミントンの更なる普及と、技術の向上を目標として行われている全国巡回バドミントン講習会「バドミントン・キャラバン(日本バドミントン協会主催)」が本県においても1月19日に豊田市西部体育館で実施されました。

内容としてはバドミントンをやったことのない子供たちを対象とした「はじめてのバドミントン教室」、クラブチームや中学校などでバドミントンをプレイしている子供たちへの「ジュニア教室」、そして様々な立場で指導に携わる方々を対象とした「指導者講習会」の3つの講座が主なプログラムです。

さらにロンドンオリンピック女子単に出場したヨネックス所属の佐藤冴香さんの話を聞いたり、ジェイテクトの選手たちによる模範プレイを見たりといったすばらしい機会も得られました。

講習会では、そうしたゲストたちと直接シャトルを打ちあって指導してもらうなど非常に充実した内容で、参加者一同思い出に残る時間を過ごしました。閉講式後もサインや写真撮影を求める長蛇の列が



できており、興奮さめやらぬ様子が見られました。これを機にバドミントンの裾野が広がり、ジュニアのレベルがさらに上がっていくことを期待したいと思います。

(広報委員 大村悠介)



全国小学生大会 団体戦は男女共3位、個人戦も好成績続出!

令和元年12月21日～25日、徳島県鳴門市大塚スポーツパーク内アミノバリューホールにて『第28回全国小学生バドミントン選手権大会』が開催されました。

都道府県対抗団体戦(1複2単)では、男子(長束翔太・世古奏・花井和樹・藤沢智樹・樫尾陽太・山脇弘奨)と女子(山本優愛・伊藤菜央加・中根千夏・岡本芽・竹内亜美・森眞子)が共に3位という好成績を収めることが出来ました。

男子の山脇は栃木戦。関東オープンで唯一敗戦した相手でした。ダブルス(世古・花井組)がフルゲームの接戦の末敗戦。第1シングルスは長束がU13の貫禄で快勝。第2シングルスはU13ながら5年生の山脇。相手は関東ブロック予選6年生シングルス1位の松本君。13-21で1stゲームを落とし嫌な空気。メンバー、観客席一丸となって応援。その声に奮起し2ndゲーム21-18、ファイナルゲーム21-16で勝利し準決勝進出を決めました。準決勝はU13木根君擁する京都府に1-2で惜敗し3位という結果でした。



女子の山場はベスト16を賭けた岡山戦。ダブルス(岡本・竹内組)の相手は昨年の5年生女子ダブルスチャンピオン石井・戸上組。息の抜けない大接戦の末なんと2-0で大金星。ダブルスの勢いをそのままに第1シングルの伊藤が難なく勝利しベスト16を決めました。その後準決勝までコマを進めましたが、U13を2人擁する埼玉県にダブルスを勝利するもシングルス2本を落とし敗退。3位という結果でした。

今年の団体メンバーはみんな仲が良く、期間中とても良い雰囲気でも過ごすことが出来ました。男女アベック優勝という目標を掲げていただけに3位という結果が少し悔しいです。選手たちは精一杯やってくれましたし、周りに素晴らしい感動を与えてくれました。

個人戦については、6年生男子シングルス長束翔太が3位、5年生男子シングルス山脇弘奨が優勝、5年生男子ダブルス因藤将夢・三浦壮太組が5位、4年生男子ダブルス池田純一郎・石川隼組が優勝、6年生女子ダブルス小林色葉・小林若葉組が5位、5年生女子ダブルス縣明日香・藤井詩組が3位と、こちらも団体戦同様、好成績を収めることが出来ました。

(小学生連盟強化委員長 男子団体監督小林宏也)



バドミントンS/J リーグ2019 参戦記

◆東海興業6位、JTEKT7位 共に残留

本大会は、11月2日から12月22日の間に北海道札幌大会を皮切りに全国各地で行われ、11月10日には刈谷大会が行われました。本県からはJTEKTと東海興業が参戦しています。国内最高峰リーグでの戦いを終えた両チームが参戦結果を報告します。

JTEKT

我がJTEKTチームは、昨年、初参戦で10チーム中の6位でした。今年はTOP4入りを目



指し練習を積み重ねてきましたが、昨年の順位を下回り7位という結果となりました。誰かが勝つのではなく、自分が勝ってTOP4に入るという強い気持ちを持って来年は戦いたいと思います。

なお、刈谷大会をはじめ、多くの応援をいただきありがとうございます。皆様の期待に応えるよう勝利を目指して頑張ります。

(JTEKT副部長 峰登志郎)



東海興業

我がバドミントン部は、創部1986年、愛知県大府市を拠点に活動しております。

2019年度は、男子バドミントン部が10年振りにS/J リーグ復帰となり、現役選手にとって初めての「夢舞台」への挑戦でしたが、1年間の継続的な強化の成果を発揮し、チーム目標として掲げていた6位の成績を残すことが出来ました。

S/J リーグに向けてご協力、ご声援いただいた方々に感謝申し上げます。

2020年度は、S/J リーグでの更なる上位進出に向け、一人ひとりが高い意識で練習に取り組んでまいりますので、引き続きご声援の程、よろしくお願い致します。(東海興業監督 小林瑛二郎)



(左) 森田 (右) 間瀬

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 山田 順一郎



本会の創立70周年を記念して昨年度から多くの記念事業が実施されてきましたが、今回の70周年誌の発刊をもちまして無事フィナーレを迎えることになりました。70周年誌の発刊に際しましては、寄稿・編集等でご協力・ご尽力をいただきました関係各位に心より感謝申し上げる次第であります。アーカイブの重要性が叫ばれる中、私どもの70年史が記録の保存・活用に大きな役目を果たすことを期待して止みません。

さて、年度末を迎えるにあたり月並みですがこの1年間を振り返ってみますと、一番のトピックスは茨城県石岡市にて開催されました第74回国民体育大会において成年男子が4位という輝かしい成果を上げたことではないかと思えます。成年男子が国民体育大会で4位に入賞したのは25年前の平成6年に大府市で開催されました“わかしゃち国体”以来の快挙であります。この素晴らしい成果の要因には、本県所属のジェイテクトと東海興業の男子2チームがS/Jリーグで活躍していることが大きく貢献しているのではないかと思います。選手の皆様におかれましては、是非、来年度は次の高みを目指してより一層頑張ってくださいことを期待いたしております。

最後になりましたが、2019年度の本会の運営に対しまして会員各位から寄せられましたご協力に感謝を申し上げます。

令和2年度はいよいよ東京オリンピックの開催年となります。皆様におかれましては日本のバドミントンフィーバーをさらに盛り上げるためにも日本代表オリンピック選手への応援をよろしくお願いいたします。

★愛知のホープ★

とみた まなと

富田万南斗(名古屋経済大学市邨中学3年)



富田選手は華奢な体格で穏やかな性格をしています。バドミントンでは誰にも負けたくないという強い気持ちを持った「外柔内剛」な選手です。小学校時代には全国小学生大会で個人3位という優秀な成績を残してきました。また中学進学後は、JOCで個人ベスト8。その後U16の日本代表選手に選ばれ、海外遠征などにも参加をして活躍していました。しかし今年度の全国中学校総体ではまさかの初戦敗退となり、自信とプライドは砕け、大きな挫折を味わいました。今はそこから這い上がり、新たな目標を定めて毎日の練習を頑張っています。

課題はパワーとスタミナをつけることです。日本代表での活動で、海外の選手は体格が良く、フィジカルの強さで大きな差を感じたとのことでした。その強いフィジカルを身に着けるため、トレーニングに積極的に取り組んでいます。今後の目標は高1でインハイとJOC出場、高2でインハイベスト16とJOCベスト8、最終目標はインハイベスト4以上です。また、同じ愛知県出身で同学年の岩野滉也選手(ふたば未来学園中学)に勝つことも一つの目標としています。そしていつかリン・ダン選手のような世界トップの選手になりたいと考えています。

喜びや挫折、多くの経験を積んできましたが、成長の可能性はまだまだ大きく広がっている選手です。何より負けん気の強さ、意識の高さは人並み外れていると感じています。これからの活躍に大いに期待します。応援よろしくお願いいたします。(名経大市邨中学・高等学校バドミントン部顧問 石井久伸)

連盟NEWS

小学生バドミントン連盟

令和元年12月に全国大会が終わり、令和2年1月から行われている強化合宿は5年生の選手が中心となって練習が行われ、早くも次の全国大会に向けて選手、コーチ一同頑張っています。

また2月には大会が2つ控えており、1つ目は2月9日三重県伊勢市三重交通Gスポーツの杜伊勢体育館で行われる『第23回東海小学生バドミントン大会団体戦』があり、愛知県からは男子6団体、女子8団体が岐阜県・三重県・静岡県代表と戦います。

2つ目は2月22日常滑市体育館で「第24回愛知県小学生バドミントン大会新人戦」が行われます。前大会までは5年生男子・女子、4年生男子・女子、3年生以下男子・女子の6種目で行っていましたが、今回より、低学年の選手がより多く参加できるよう2年生以下男子・女子を加え8種目で行うこととなりました。どちらの試合も出場選手には頑張ってもらいたいです。(小学生連盟 鈴木由紀江)

中小学校体育連盟バドミントン部

3月の全日本中学生バドミントン選手権大会に向け、愛知県の選抜メンバー(男女5名ずつ)を対象とした強化練習会を行っています。12月は滋賀県で、滋賀・愛媛県との合同練習試合を行いました。シングルスでは他県上位選手との力の差を実感し、個々のシングルス力のレベルアップを図る必要があると感じられました。これから大会本番までの間、東海興業や市邨高校との強化練習会、埼玉オープンへの参加、福井遠征、岐阜での近接大会への参加など、選抜メンバーとしての様々な練習機会があります。昨年以上の結果を残せるように努力して欲しいと思います。(中小学校連盟 石井久伸)

高等学校体育連盟バドミントン部

◆東海選抜が愛知県豊橋市で開催

第48回全国選抜大会の東海地区予選会が1月17日から19日にかけて豊橋市総合体育館で実施された。各県上位2本が出場する個人戦に、男子は名経大市邨、女子は岡崎城西と市邨の選手たちが

挑んだ結果、男子複で市邨の河辺・志賀組と上田・阿保組が、女子単で城西の久湊と梅田が1・2フィニッシュを飾った。他の種目でも男子単は太田が優勝、女子複は市邨の中山・岩野組が優勝、城西の山本鈴・山本琴組が3位という素晴らしい結果を残した。すでに愛知県代表として出場を決めている団体の男子名経大市邨と女子岡崎城西の2校に加え、上位3本に入った選手たちは3月に鹿児島県で行われる全国選抜に乗り込む。そこでのさらなる活躍を期待したい。(高体連 大村悠介)

学生バドミントン連盟

令和元年12月7・8・14・15日にかけて愛知工業大学・名古屋女子大学にて第64回愛知学生新人バドミントン選手権大会が開催されました。男子シングルスでは、優勝候補であった、前田尚也(愛知淑徳大学)選手が総勢約200名の参加者の中から見事優勝しました。決勝戦ではファイナルゲームまでもつれる接戦になった前田選手ですが、「優勝を目標にしていたので素直にうれしいです。次の大会も頑張りたい。」とコメントを残しました。4月には東海学生バドミントン選手権大会が行われます。強い選手が多く出場する大会です。レベルの高い試合が多く行われ、中部学生・西日本でよい成績を収め、東海地区から多くの選手がインカレに出場できることを期待しています。(学連 和田一輝)

実業団バドミントン連盟

◆第110回愛知県実業団バドミントン選手権大会(後期リーグ戦)

令和元年12月1・7・8・15日の4日間で企業体育館にて開催され、S/Jリーグに参戦しているJTEKT、東海興業の2チーム(男子)を除く男女49チームが参加し、熱戦を繰り広げた。男子1部では大同特殊鋼が、女子1部では豊田通商がそれぞれ優勝した。なお、今大会は令和2年度全日本実業団大会(大阪市にて開催)の予選も兼ねており、男子、女子の上位6チームが優先出場権を得た。また、大会要項に愛知県バドミントン協会創立70周年記念の冠に掲げ、老朽化した実連旗を大小2枚新調して、各会場に掲示、各チームにお披露目をした。(実業団連盟 理事長 井上龍)

市町村だより

一宮バドミントン協会

◆一宮市民秋季バドミントン大会

11月10日、一宮市総合体育館(DIADORAアリーナ・いちい信金アリーナB)にて参加者数166ペアで開催されました。今回はS/Jリーグが刈谷市で開催されていたためか、参加者が例年よりも少なかったが、活気あるプレーが繰り広げられました。

女子2部優勝者(加藤梨湖・加藤千花)コメント「本日はとても楽しい試合ができて楽しかったです。次は1部で頑張ります。」

女子3部優勝者(浜崎玲音・大庭帆乃夏)コメント「本日はとてもいい経験ができました。もっと練習をし、次の市民大会では2部で出場したいです。」

各クラスの優勝者は次の通り。

	優 勝	準優勝
男子1部	小竹剛生 牧田幸記	平松大輝 末松功大
男子2部	川瀬正巳 近藤聡平	古田圭三 大浦直人
男子3部	安田智詞 森 亮磨	藤本 章 北島素良
男子4部A	間瀬和磨 加藤恭久	原 魁成 藤本和希
男子4部B	安藤滋史 片山紘希	塚本雅志 浅野由輝夫
シニア男子	松永浩治 金澤 進	吉田隆司 島田千尋
女子1部	安藤悠花 蒲ちひろ	杉江紗矢香 脇田乃幸
女子2部	加藤梨湖 加藤千花	今井千明 畑中幸枝
女子3部	浜崎玲音 大庭帆乃夏	小林なつみ 山口万里奈
女子4部A	坂井まみ 堀 志帆	竹畑多美 長崎良美
女子4部B	村橋 凜 山田光来乃	栗谷真生 平手七果
シニア女子	清水美紀 松永周子	川尻礼子 各務昌美



知多市体育協会バドミントン連盟

◆新春バドミントン大会

令和になり初めての新春大会を、混合ダブルス「松」「竹」「梅」のクラス別に、1月5日(日)に知多市立知多中学校体育館で、翌週1月13日(祝)には小学生学年別ダブルスをベティの家旭体育館で開催しました。多くのペアにより熱い戦いが繰り広げられました。結果は次の通りです。

	優 勝	準優勝
混合ダブルス 松の部	森田貴士 稲川恵里奈(アイシン)	近藤幸雄 新實裕子(つつじ)
混合ダブルス 竹の部	峯 良太 中井美穂(旭桃)	浅井滉太郎 田中愛実(つつじ)
混合ダブルス 梅の部	坂本和親 野田ひなた(つつじ)	水野 正 田中直美(つつじ)
小学生ダブルス 男子5～6年の部	斎藤直樹 小田凜太郎(知多Jr)	賢生悠介 西尾日陽(知多Jr)
小学生ダブルス 女子6年の部	牟田夏澄 江野本愛実(旭北)	三宅優空 島 桜子(旭北)
小学生ダブルス 女子5年の部	中井琴音 平松加蓮(知多Jr)	山本彩愛 堀内茜里(知多Jr)
小学生ダブルス 男女4年の部	山本愛葵 勝崎 慶(旭北)	加藤彩愛 黒野仁菜(新知)

日進バドミントン連盟

本連盟は、「日進BC(NBC)」「レディース」「ジュニア」の三つの団体から構成されています。

どの団体の練習も、部活のような厳しさもあれば、優しさもあり…の状況です。でもみんな楽しみながら練習をしています。試合に向けて練習している人、健康維持のために練習している人、目的は違っていてもバドミントンが大好き人ばかりが集まっています。是非一度のぞいてみてください。

連盟の活動としては、市民大会(春季・秋季)や近隣の愛好家が集うオープン大会を実施しています。市外の方が参加できる大会もありますので、日進バドミントン連盟のホームページをご覧ください。市民体育館でお待ちしております。

テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ

NONAKA

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。

YONEX

豊田市バドミントン協会

第23回 市民バドミントン大会混合団体戦
令和元年10月26日 豊田市運動公園体育館

	優 勝
1部	G.spank!

第42回 市民バドミントン選手権大会
令和元年11月10日 豊田市西部体育館

	優 勝
男子Aクラス優勝	安井・鈴木 (BSモリタ)
男子Bクラス優勝	富永・堀内 (Nexus)
女子Aクラス優勝	安武・津幡 (G.spank!)
女子Bクラス優勝	渡辺・野村 (豊田高)



安井・鈴木 (BSモリタ)



安武・津幡 (G.spank!)



富永・堀内 (Nexus)



渡辺・野村 (豊田高)

連絡 投稿

広報誌・公式サイト管理・運営をお手伝い頂ける方を募集しています。

〒452-0008 清須市西枇杷島町地領1-9-9
広報委員長 岩田 崇
TEL (052) 501-2602

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス
<http://www.badminton-aichi.com/>
Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com

西三河のバドミントン専門店

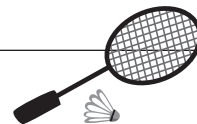
モリタ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

審判連載

「サービスジャッジについて」

水野 慶介



皆さんはサービスジャッジ単独の業務を行った事がありますか？大規模な大会以外では、配置される事はそれ程ないとは思いますが、未配置の際には、主審がその業務も兼務しなくてはいけないので、判断すべき内容とそのときに行う合図を習熟しておく必要があります。

サービスジャッジの合図は主に4種類あります。競技規則第9条第1項に正しいサービスについて規定されており、それぞれに違反した際に行う合図が定められています。その中でもシャトルを打つ時、床からシャトル全体の高さが115cm以下であるか否かを判断する機材が国際大会では配置されています。使われた方はいないと思いますが、どのような物か一度見てみてはいかがでしょうか？

編集後記

新型コロナウイルスが封じ込めの努力をよそに蔓延の兆しを見せており、当初の想定よりも感染力が強そうで心配な限りです。自分の身は自分で防衛することが肝要ですが、マスクも入手困難な状態が続いており、私たちが取るべき手段はウイルスを発症させない強い身体を創ることも一つの重要事項なのではないでしょうか。

その為にはバドミントンは最適です。さあみんな、バドで体力アップに努めウイルスなんかぶっ飛ばしましょう。(広報副委員長 天埜良彦)

※記事の中で開催予定とされていた大会のうち、新型コロナウイルスの関係で中止となった大会があります。

勝つための本物

GOSEN®

www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741